平成27年度事務事業評価シート（平成26年度実績）

事務事業コード	020104020	予算コード	01055700
事務事業名	奨学金貸付事業		
担当課	学校教育課		
根拠法令等	市単独事業 ■条例・規則 泉佐野市奨学金貸付基金条例、泉佐野市奨学金貸付基金条例施行		
事務事業類型	運営事業	評価区分	
実施手法	市直営		

対象

特定の市民　対象数

中学３年生、高校・大学・専修学校生等。

事業の内容

泉佐野市奨学金貸付基金条例において設置する泉佐野市奨学金（本市に住所を有する世帯主の世帯に属する高等学校等に在学中である生徒）について貸付事務を遂行する。

事業の目的

経済的理由により修学が困難な生徒の進学を支援する。

従事人員（人）	
正規職員数	0.2
嘱託職員数	0
臨時職員数	0.03
歳出（千円）	
人件費総額	1,592

投入コスト（千円）	
国庫支出金	
府支出金	
市債	
その他	58,028
一般財源	10,426
減価償却費	0
事業費	66,862
フルコスト（千円）	68,454
市民1人当りコスト（円）	676

活動指標	H26実績
高校申請者	26.0
大学申請者	8.0
専修学校申請者	0.0

成果指標	H26実績
高校奨学生採用件数	13.0
大学奨学生採用件数	3.0
専修学校奨学生採用件数	0.0

コスト指標	H26実績
申請者１人当たりのコスト	2,013,353.0

評価	評価点
有効性	A
効率性	B
妥当性	B
受益者負担	該当なし
緊急性	C
公的関与	A
実施主体・委託化	A
他の事務事業との関連	A
透明性	A
財政健全化計画	該当なし
財政健全化の取組	該当なし
改革改善プラン達成度	該当なし

一次評価	B

家庭の経済状況によって進路に展望が持てない子ども達を作らないためにも奨学金制度は必要です。しかし、現行の奨学金制度については返還業務等で改善が必要と思われます。将来地域や社会を担う人材を育成するために制度を整理のうえ、安定した事業の継続が必要です。

事務事業実施内容

奨学金の貸付